

(18) マイスプーン

1 活動の目的、効果

(1) 体験活動上の効果


◎自主性・創意工夫 ◎阿蘇の自然に親しむ ○課題克服・達成感

(2) ESDの課題解決に必要な7つの能力・態度

⑥ つながりを尊重する態度

人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度

2 活動の詳細



概要 (セールスポイント)	敷地内の林を散策し、自分の手にぴったりと合う木の枝を見つけ、スプーンの柄に加工していきます。 自分で作った、マイサイズのスプーンが出来上がります。				
諸条件	実施形態	自主活動		提出書類	食事・教材注文票 (材料の注文)
	必要経費	特定研修活動実施経費(1人50円) +材料費(1人200円)		所要時間	2時間程度
	活動場所	研修室		対象・人数	小学校低学年以上 最大150人
	時期	通年	事前下見	不要	天候
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体に準備する物	
	・糸のこ ・電動ドリル ・バケツ ・雑巾 ・万力 ・グルーガン ・新聞氏 等			【参加者】	・筆記用具 軍手 等 【指導者】
役割分担	青少年交流の家が行うこと			団体の引率者が行うこと	
	1 道具の準備をし、引率者(担当者)への説明を行う (活動開始30分前までに) ① 貸出物品について ② 活動の進め方について ③ 安全管理について ④ 活動後の片づけについて 4 貸出物品を受け取			1 交流の家職員から説明を受け、貸出物品を受け取る (活動開始30分前までに) 2 売店で材料を購入する 3 準備から片付けまでの指導を行う 4 貸出物品を返却する	

3 活動のふりかえりのポイント

視 点：①「楽しんで、仲間と協力して活動することができたか。」

発問例：①「出来上がった作品について、頑張ったこと、工夫したことなどを班で発表しましょう。班のメンバーは、友達の作品や、作業中の様子などの、自分が気づいた『ナイスポイント!』を伝えましょう。」

4 SDGsで目指す姿

		15.4 2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。 阿蘇の草原、牧野について興味を持つとともに、これらの自然が長い年月をかけた人々の努力を知り、豊かな自然を守るために自分にできることを考え行動しようとする姿 また、自分で作った作品に愛着を持ち、大切に長く使うようになることをとおして、身の回りにあるものも同じように大切に使う姿
--	---	---

5 その他

①引率者は事前に以下の役割分担をしておいてください。

○全体指導(1名) ○バケツ担当(1名) ○ドリル担当(1・2名) ○グルーガン担当(1名)

② 作り方については、動画を作成しています。(8分程度)

事前に視聴しておいていただくと当日の活動がよりスムーズになります。

<https://youtu.be/AH0LBHBrXVw>

動画はこちら↓



準備物



マイ Spoon セット

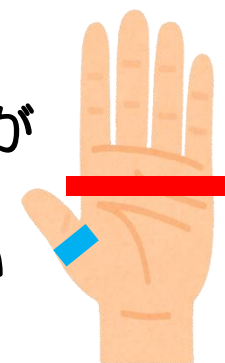
(Spoon 先・サンドペーパー・ホットボンド)
糸のこ 電動ドリル バケツ 雑巾
万力 グルーガン 新聞氏 ごみ袋

準備

- 桜の並木道に行き、
スプーンの柄用の枝を探す。

ポイント

- 落ちている枝を使います。
- 生えている木の枝は折ったり、
切ったりしません。
- 枝の長さは、10 cm くらい
(手のひらより少し長いくらい) が
ちょうどいい長さです。
- 枝の太さは直径 2 cm くらい
(親指の太さくらい) が
ちょうどいい太さです。



《研修室の準備》

- ①机に新聞紙をしく
- ②各作業スペースをつくる
(糸のこ・ドリル・グルーガン・バケツ)

① 糸のこで自分の手にあった長さに切る。

A) 屋外で切る場合 (2人組で)

枝の片方をしっかり握って支えてもらう



枝の片方自分でしっかり握る

B) 研修室で切る場合 (1人で)

利き手で糸のこを持つ。



利き手でない方の手と机で枝をしっかりと固定する

② サンドペーパーを使って、枝の断面を磨き、かるく水洗いする。



③ 枝を万力で固定しドリルで穴を開ける。
(穴あけは大人がする)

上に長く出しすぎない



上からまっすぐに刃を当てて、ドリルのスイッチを押す。



白い線までドリルの刃を入れる。

引き抜くときもドリルは回転させたままで

④ 穴をあけた枝にスプーンを差し込む。

① 一度差し込んで、奥まで入ることを確認したら引き出す。

② 開けた穴にグルーガンを使ってホットボンドを流し込む。

グルーガンに
ホットボンドを差し込む



ホットボンドは
はみ出ていても
いいです。

グルーガンを温める
(5分間くらい)



③ スプーンを差し込み、固定する。



ホットボンドはすぐに
固まってしまうので
とにかく急ぐ！



穴が完全に埋まるように
ホットボンドで覆う

⑤ 完成！



そのまま使えます。

長持ちさせたい人は、おうちに帰ったあと、オリーブオイル（あれば食器用ニス）を塗るといいですよ。

⑥ 片付け

- ① 机の上や周辺を片付け、掃除をする。
- ② 使った道具、作業スペースを片付ける。
(ドリルや万力に残っている木くずや粉をハケで掃除する)
- ③ 使った部屋を片付ける。
- ④ 借りた道具を返却する。

グルーガンの先端を
穴に合わせて
ホットボンドを流し込む。



ホットボンドの量は、
穴がかくれるくらい